

全国選抜大会で団体優勝

東高相撲部

5月の金沢大会Vへ弾み

矢鋪が個人準優勝、闘志さらに

三月十七、十八日に高知県立春野総合運動公園で行われた全国高校選抜大会の相撲競技で、金沢学院東高校相撲部が団体優勝しました。平成五年に男女共学の金沢東高校が誕生すると同時に創部されてから十四年目で念願の全国制覇を果たした部員たちは、五月二十七日の金沢大会でも頂点を狙い、全国大会での連続優勝を勝ち取るべく、さらに闘志を燃やしています。



高校選抜で団体優勝し、金沢大会に向けて活躍を誓う東高校相撲部員。相撲道場

【団体戦成績】	予選	2勝4点
	(0-3鳥取城北、2-1専大松戸、2-1揚志館)	
	決勝トーナメント	
・1回戦	3-0	近畿大附属
・2回戦	3-0	野村
・準々決勝	2-1	愛工大名電
・準決勝	3-0	熊本農
・決勝	3-0	鳥取城北

十七日の全国選抜個人戦では、主将の矢鋪選手が準優勝し、ぎりぎりの成績で通過した団体戦予選の不振を吹き飛ばしました。十八日の決勝トーナメントでは、五戦のうちで負けは一つだけ。特に、決勝で対戦した鳥取城北には予選で完敗し、弘前大会の準決勝で敗退していただけに気合が入り、先鋒の武田選手に続いて中堅の矢鋪選手が対戦相手をひきおとして破って優勝を決めると、応援

席からひと際大きな拍手と歓声が沸きました。大澤恵介監督は鳥取城北戦について、予選で負けたことでうまく開き直り、気持ちで相手を上回った」と振り返り、金沢大会に向けて

重量挙げの橋田、新谷選手ら 日本協会から表彰



日本ウエイトリフティング協会の飛田会長から表彰状を手渡される橋田選手。左は新谷選手=北國新聞会館

三月二十四日に金沢市の北國新聞会館で行われた第二十二回全国高校重量挙げ選抜大会開会式のと、日本ウエイトリフティング協会の表彰があり、飛田秀一、橋田、同職員の新谷、義人の両選手が優秀選手賞、小畑直之、金沢学院大学監督、長谷場久美同コーチが優秀指導者賞を受けました。橋田、新谷の両選手は日本新記録をたびたび塗り替える活躍を見せ、小畑監督、長谷場コーチは両選手を的確に指導しました。



全国選抜大会で準優勝した矢鋪選手(左)

では「中学時代に全国制覇を経験したメンバーが、高校でもそれを成し遂げて、妙なプレッシャーがなくなつたかもしれない。たくさんの人に見られる練習も取り入れ、守りに入らず挑戦者の精神で臨みたい」と話しています。

芸術院会員就任祝賀会
金沢学院大学美術文化学部村田省蔵教授の日本芸術院会員就任記念祝賀会は三月二十六日、金沢全日空ホテルであり、関係者約二百十人が同教授の栄誉を讃えました。飛田秀一理事長が「これからは自由に描ける立場であり、原点に返って人物画も描いてほしい」と祝福し、村田教授は「皆さんのご支援に感謝し、古里に恩返ししたい」とお礼の言葉を述べました。



職員が消防訓練。救助袋を使った避難訓練では、二人一組で救助袋を組み立て、らせん状の袋を通って地上に降りる訓練を行いました。

職員が消防訓練
金沢学院大学・短期大学の職員を対象にした消防訓練は三月二十三日、学内で行われました。参加した職員は消火器、消火栓、救助袋の取り扱いについて説明を聞き、実際に消火器で火を消したり「写真左」、放水、救助袋による降下を体験して、防火に関する知識を深めました。

発行・広報室